



新年度を迎えて

～ 地域の皆様の為にある鵬友会であるために ～

医療法人社団鵬友会 理事長 池島 秀明



また今年も桜の季節がやってまいりました。湘南泉病院の屋上より、未だ冠雪のある富士山がはっきりと眺めることができます。そして富士宮市にあるフジヤマ病院よりの富士山の眺めは、それは素早いものです。これから法人本部が移転する、ゆめが丘病院よりの富士山の眺望も素晴らしいと聞き及んでおります。我々鵬友会は、富士山のように普遍的に、地域の皆様方にとって頼りになる医療法人であるために、当法人の基本理念である「当会の設置経営する施設は永年医療業務に關与してきた立場より、この経験を活かしつつ「科学的で良質かつ適切な医療、看護、介護」を普及することにより、ソーシャルサービスの精神をもって地域の皆様から信頼される医療及び福祉に貢献すること」に則って、地域の皆様の健康の維持、児童福祉に、毎年変わらず努力すること、職員一丸となって普遍的に皆様のお役に立つことを、今年目標として参りたいと思っております。

【湘南泉病院】 神奈川モデル認定医療機関として、3年間にわたり新型コロナウイルス感染症陽性・疑似症患者様受入れのために入院制限を行う等、患者様、救急隊や高齢者施設、近隣医療機関の皆様には大変ご不便をお掛けいたしました。現在は皆様からの受診要請に応える体制は整いました。また、新たに非対面診療が可能な「オンライン診療」を導入することで患者様の利便性を高めると共に、在宅療養支援病院の認定を受けることで、在宅療養支援診療所等と連携し、緊急時に在宅で療養を行なっている患者様の入院受入れ等を行い地域における24時間在宅医療提供体制の構築の一助となるように努めてまいります。更に皆様にご不便を来たさぬよう令和6年4月に予定しております「ゆめが丘への病院移転」を円滑に進めてまいります。

【新中川病院】 当院では入院患者様の安心・安全をこれまで以上に高めて頂けるように努めて参ります。すでに令和5年1月よりサットメッセージ(24時間パルスオキシメーター)にて、迅速に医療スタッフが異常に気付けるシステムを導入いたしました。4月より療養病棟すべてにおいて稼働いたします。また急性期病院等から療養型病院に転院を希望されている患者様が、お困りの場合に慢性期病院最後の砦となるよう当院の医療、看護、福祉の力を結集してチームで救済策をみつけ出し何とか当院が協力できないかを模索する試みを始めていきます。更に、皆様にご不便を来たさぬよう令和6年10月に予定しております「湘南泉病院への移転」を円滑に進めてまいります。

【横浜ほうゆう病院】 認知症専門医療機関として、横浜市の事業である「認知症疾患医療センター」、「認知症初期集中支援推進事業」、「もの忘れ健診」を受託致しております。令和4年6月からは新たに「若年性認知症支援コーディネーター事業」の受託が開始されました。新型コロナウイルスの移行が予定されている今年度は、この3年でほぼ開催ができなかった地域住民や地域で働く方向けの研修などの、認知症に関する普及・啓発活動を行ってまいります。また従前どおり、地域における認知症ケアに関する知識・技能の向上を目的に、医療・介護関係者等との連携、認知症鑑別診断、身体合併症と周辺症状への対応、専門医療相談等を実施し、これまで以上に「認知症で困った」の声に応じてまいります。

【フジヤマ病院】 フジヤマ病院では今年度、患者様への入院支援に力を入れ患者様が住み慣れた生活にスムーズに戻るよう多職種での支援を行います。また退院後の日常生活がより充実するように訪問リハビリテーション等を提供

していきます。今後もリハビリケア・いかる野・居宅支援事業所フジヤマとの連携を密にすることで、スムーズな医療を患者様に提供できるよう職員一同努めてまいります。

【本郷クリニック】 コロナ禍においては、発熱外来、ワクチン接種など、積極的に新型コロナウイルス感染症に対応してまいりました。その結果、近隣の患者様よりの受診が増加し、信頼の声を多くいただいております。微力ながらも地域の皆様のお役に立てたのではないかと感じております。本年度は新型コロナの5類相当への移行が予定されておりますが、なお一層、地域の皆様の笑顔と健康のためにスタッフ一同一丸となって精進してまいります。

【介護老人保健施設 阿久和鳳荘】 本年度も、医療・介護・地域・行政との連携を密にし、迅速な受入や相談・対応を行えるよう、体制を整えケアマネジメントの質の向上を目指します。また、他部署間の様々な情報を共有し、利用者様一人ひとりのケア・リハビリの内容・質をより高めるとともにスタッフの意識をより一層高め、安心した自立生活を送れるよう在宅復帰に向けた取り組みを強化し、ご家族が安心してご利用頂けるような施設づくりを進めていきます。

【介護老人保健施設 リバブルケア】 昨年度は感染症蔓延により利用者様の余暇、地域との交流が思うようにできなかった反省点がございます。今年度は感染症対策を行いながらレクリエーション等の充実を進めていき、利用者様の余暇の充実、地域とのつながりの回復を目指し、地域の皆様のご期待により応えることができる施設を目指してまいります。

【介護老人保健施設 いかる野】 これまでの感染症対策で培った経験や知識を生かして、感染症対策は継続しつつも、新型コロナ禍以前の介護老人保健施設の利用状況に近づけていきますように、工夫を凝らして利用者様・ご家族様の希望や思いに応じていきます。

【ほうゆう訪問看護ステーション】 訪問看護は医療と生活に密着しており、今後、在宅医療の推進、地域包括ケアの実現に向けて、需要の増加が予想されます。利用者様の希望や環境に合わせ、住み慣れた場所で安心して生活して頂けるよう、連携して取り組んでいきます。当事業所は今年看護スタッフの増員があり、協働してより皆様のご要望に応えることができると考えております。

【居宅介護支援事業所フジヤマ】 居宅支援事業所フジヤマは、富士宮市内における医療、地域、福祉との連絡連携を積極的に行い、顔の見える関係性づくりと地域の方々から信頼される事業所を目指し全力で取り組みます。

【ほうゆう保育園】 昨年は報道等で、保育園に関する悲惨で悲しいニュースが大きく取り上げられていました。ほうゆう保育園では絶対にこのようなことがおきないように、マニュアル確認や職員教育に力を入れており、子どもたちが安心して園生活を送ることが出来るよう、今後も安全な運営体制に努めてまいります。

以上、本年度の鵬友会各施設の展望を申し述べて参りました。私ども鵬友会は、今後とも現状に甘んじることなくさらなる向上を求めて職員一丸となって研鑽を積むことにより医療、介護、福祉、保健、児童福祉の分野での幅広い対応をはかり、地域の皆様より信頼される医療法人を継続していきたく思っております。ここにあらためまして皆様のこれまでの鵬友会へのご支援に深く感謝申し上げますと共に、鵬友会の発展のため、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新年度スタート！～2023年度入職式/新採用者研修～



池島 理事長

2023年度入職式が4月3日（月）湘南泉病院会議室において感染対策のため時間を短縮して執り行われました。法人内各施設から新入職者総勢22名が集まり、緊張の面持ちで新たな第一歩を踏み出しました。（富士宮地区10名はリモート参加）

式の中で、池島秀明 理事長は「自分のことだけ考えていると、結局うまくいきません。自分も大事ですが、同僚も大事、患者さん、利用者さんも大事、医療を施しているのではなく、お手伝いをしているという心構えで勤務してもらいたい。もう一つは、皆さんの生活を守るのは法人の仕事です。今後すごく大変なことがあるかもしれませんが、それは皆さんの生活を守るためのものであるので、共に頑張りましょう。」と激励しました。



池島 常務理事 講義



【 会 場 】



【 会 場 】

続いて、池島 守 常務理事から『鵬友会の組織の概要』についての話があり、各施設の概要や新病院への移転計画、福利厚生等について説明しました。

その後、各施設の看護部長や事務部長が挨拶をし、式は終了しました。

地域と共に、未来へ ゆめが丘病院通信

【完成図】



ゆめが丘病院は2024年4月に開院を予定しています。

令和4年11月7日に地鎮祭が執り行われ、新築工事は着々と進んでおり3月末現在の進捗状況は、全体の18.1%になります。

ゆめが丘病院は、救急医療の強化や充実した外来機能を持ち、地域の急性期医療ニーズに応えられる病院を目指します。よりよい環境で安心して専門的な医療を受けて頂けるよう救急初療室、HCU（高度治療室）8床、感染症対応病床4床を設置します。

また、健診プラザ棟を併設し、疾病の早期発見・早期治療はもとより「未病」のコンセプトのもと予防医療と一体化した安心してお任せ頂ける医療を提供を致します。ゆめが丘の地で新しい街づくりに向けて、医療の分野で地域の皆さまに貢献していただけるよう全力を尽くしてまいります。

【3月22日現在】



【3月27日現在】



【4月4日現在】

